

本授業では、20 世紀後半以降のグローバル化の中で生じた日本や世界の課題を、グローバル化 (IT や DX 含む) の影響や結果として、そのメカニズムらしきものを地理学的ロジックとともに考えてこうと思います。

皆さんが生まれたころからの身近な変化から、人、モノ、カネのグローバル化を考えると課題が見えてきます。最近の話題でいうとコロナやウクライナ問題からサプライチェーンが寸断され、国際分業が困難になったり、IT 産業中心の GAF A の情報を資源とするプラットフォームによる巨大化、寡占化は他の企業の追従を寄せ付けにくくしています。21 世紀の競争社会では、従来型の地域の産業構造は必ずしも成立しにくくなり、2000 年前後にはワーキングプアという言葉が生まれ、先進国では格差が進展し、大学生ホームレス(アメリカ)や日本では失われた 30 年の時代の中で所得も上がらず、格差が常態化し、子供の数人のうちの 1 人は貧困状態にもなっていますし、若者はブラックバイトに知らないまま組み込まれていたりします。コロナのパンデミックはこれらを誰にでもわかるように顕在化しました。「生理的貧困」は日本ばかりか世界中の女性の立場を表面化させましたし、国の教育投資が先進国では最低ラインの日本ではアルバイトができない学生の退学なども出始めました。また、近年では、半導体(かつては日本が世界の最先端)などの先端技術の遅れや AI や DX の遅れが目立ち、2 周遅れの日本といわれる方も出始めています。こうした状況下も含めて世界の課題を地理学ロジックや学際化した学問ロジックで考えていくのが、この授業の流れとと思ってください。

2 成績評価のレポートに関して 都心の大学ならではの・・・見て実体験して考える

中間レポートは 昨年は大学から北の丸公園を経て 東京駅周辺まで歩いてもらいレポートをお願いしました。東京駅周辺には日本の大企業が整然と集中しています。やや業界が偏りますが、いわゆる TOKYO の CBD や都市の集積論を見てもらうのが最終目的でした。コロナが下火になり、ひょっとしたら就活の大学生も。丸の内 例 <https://www.ikyuu.com/kankou/arealist8061/> かつて丸の内は高さ制限からビルの高さが一定で景観的にきれいで、さらに電線がこの地域など主要な CBD はなく、空が広いです。コロナ次第ですが渋谷にするかもしれません。

フィールドワークまではいきません。心配しなくてかまいません。後期の地理学 LD は秋葉原を同様にお願いし、背景としてはいわゆる集積の理論と地域活性化の基礎、コミュニティ論、仮説検証からです。最終レポートはやや理論的なモノも取り入れています。

3 AL GD/GW に関して

一方的講義ではありません。とはいえ、残念ながら、プレゼンをやってもらうわけではありません。ランダムにグルーピングして学年、男女を問わず、知り合いを作ること、コロナ下で孤独だった学生居場所作りと考えてもらったほうが・・・最初は知らない人とはいやだと思ってしまうかもしれませんが、最終目的は多様性、自分と異なる考え方の人もいることを理解できればと思っています。アメリカのスタンフォード大学の入試で「将来のルーム

メートに手紙をかく(自己紹介)」という問題がありました。

<https://www.nhk.jp/p/ts/3MWXJL2V4J/episode/te/6646KYVJYP/> どう考えますか

本格的なGD/GWまでは時間ありませんが、話したほうが眠くなりませんし、出会いがあります。

追伸 (仮登録すれば見れるらしいので) 授業開始日までに、可能であれば動画等

